

令和7年度



中海小だより

令和7年6月



校長 若山直代

「山に登る」ということ

5, 6年生が、大杉みどりの里で一泊二日を過ごした合宿が終わりました。天候に恵まれ、計画した、「動山登山、キャンプファイヤー、イワナつかみ、野外炊飯」の活動のすべてを行うことができました。

子どもたちが挑戦した動山は、長い行程と体力を必要とする山です。みどりの里の指導員さんの支援を受けながら、登った児童全員が頂上に到達し、無事に下山しました。途中で苦しい場面もあったかもしれませんが、それを乗り越え、自分の力で登りきったことは大きな成長の証です。

「山に登る」ということは、自分で自分を頂上まで運び上げるということ。言い換えれば、自分自身の力で目標に向かって歩み続けることでもあります。頂上までの道のりは遠く感じられることもありますが、焦らず、自分のペースを守り、歩み続ければ、目標に到達する時がやってきます。今回の登山を通じて、児童たちはその大切なことを学んだのではないのでしょうか。

自分の力を信じ、一步ずつ前へ進めば、道は開けます。動山に登りきった自分を誇りに思い、この経験を今後の成長に繋げてほしいと願っています。

